



後免町の名付け親

野中兼山(1615~1663年)

兼山は現在の姫路市に生まれました。祖母が山内一豊の妹であったことから、土佐藩家老野中家に養子入りし、弱冠17歳で土佐藩執政となります。以来、奉行として約30年にわたり藩の財政を司り、産業の振興や治山治水に手腕を振るい、南学を発展させました。

後免の町は兼山との関係が深く、物部川を改修して舟入川の水運を利用した町づくりが行われた際、租税などを免除したことから、「御免町」と呼ばれたのが始まりです。



舟入親水公園

細川半蔵(1748~1796年)

通称からくり半蔵。郷土の細川家第6代当主。茶運び人形などを考案した学者です。葉山村の天文・暦学者、片岡直次郎に師事し、江戸に出てからは幕府改暦委員に選ばれ改暦事業に参加するなど、天文学や理学、技術、発明の分野で多彩な功績を残しています。また、当時としては世界でも珍しいからくり工学書「機巧図彙」3巻を著し、からくり半蔵の名は、後々まで語りつがれています。

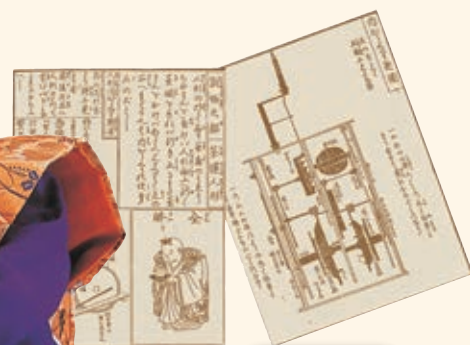


(c)やなせたかし
(c)やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

アンパンマンの生みの親

やなせたかし(1919~2013年)

アンパンマンの生みの親として有名な漫画家。小学校時代から18歳までを南国市後免町で過ごしました。後免町商店街には、アンパンマンなどの7体の石像が置かれた、「やなせたかしロード」や、やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団が所有する「やなせたかし・ごめん駅前公園」などがあり、多くの市民に親しまれています。



機巧図彙

からくり人形

南国市観光大使



演歌歌手
三山 ひろし



プロレスラー
岡林 裕二



女流棋士
島井 咲緒里

南国市をPRする観光大使の面々です。



前浜掩体群

第二次大戦中、高知海軍の飛行機を米軍の空爆から守るために作ったコンクリート製の格納庫。基地のあった前浜に今も7基が残り(前浜掩体群/市史跡)、戦争の生き証人として保存されています。



鳥居杉

桑の川地主神社の鳥居杉は、樹齢300年を超える二本の杉が枝をつなげており、別名生き鳥居・連理杉と呼ばれています。比類ないその姿は圧巻です。県の天然記念物に指定されています。



田村遺跡群

南四国最大級の弥生遺跡。600年にわたる弥生時代全期を通じて栄え、弥生人の交流と文化、稲作を中心とした生活の跡が出土しています。高知平野全域の古代史を示唆する貴重な拠点集落遺跡です。



地蔵渡し

明治30年に国分橋が架かるまで、国分と南岸の唯一の渡し場であった地蔵渡し。国分寺へ向かうへんろ道とつながり、国分と廿枝を結んでいました。名前の由来となった石の地蔵菩薩像には文化7年(1810)と刻まれています。



国分寺(四国霊場第29番札所)

弘法大師空海が開いた四国八十八カ所霊場。南国市には、国分寺と禅師峰寺の二つの札所があり、お遍路さんが一年を通して鈴の音を響かせています。国分寺は行基によって開かれ、1558年に長宗我部元親が再建しました。1200年余りの歴史があり、木造薬師如来立像・梵鐘など国の重要文化財も有する古刹です。禅師峰寺は海岸部の十市にあり、806年頃空海が開き、本尊の十一面観音像も空海の作と伝えられます。鎌倉時代を代表する木造金剛力士像二体は、国の重要文化財に指定されています。



禅師峰寺(四国霊場第32番札所)